

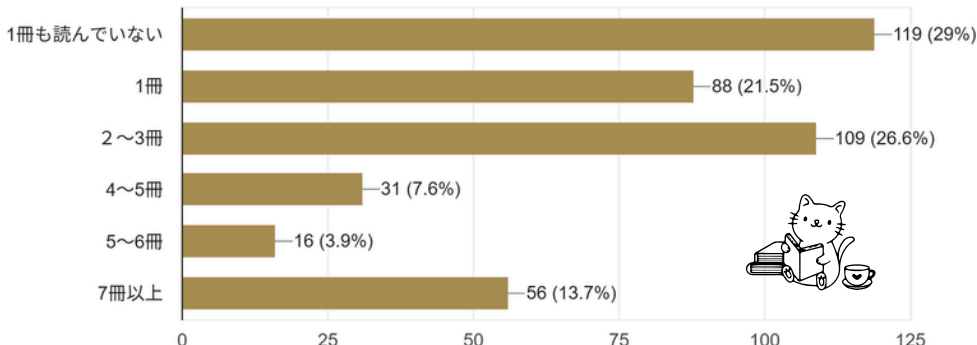


西台中だより 2026 10月

読書の秋、本を読もう

スマートフォンの普及により、手元であらゆる情報が得られるようになりました。手軽にお気に入りのショート動画を楽しめる昨今では、休み時間や待ち時間に読書を楽しむという習慣も減ってしまったのかもしれませんが、十月の全校朝礼では、読書の秋ということでおすすめ本の紹介と読書について話をしました。西台中生の読書状況について、ご覧ください。

この4月から何冊の本を読みましたか？



月に七冊以上本を読む人は圧倒的に力をつけるという

西台中でも56人が月に七冊以上の読書をしていると答えています。私はたくさん読む方ではありませんが、本は好きなので図書館で面白そうだった本はとりあえず借りて、読み切るものもあれば、そのまま読まなかったり途中でやめてしまうこともあります。人にはその時々によつてはまる本があり、それに出会うためには、こちらから積極的に出会うチャンスをつくるのが大切だと思います。ピンときたタイトルや作者はメモをしたり、少々難しい本でも頑張つてチャレンジしたりするといいですね。そのときわからなくてもなぜか忘れられない本があるものです。

10月19日（月）全校朝礼 校長講話

私の心に残る本 「数学する身体」(森田真生・著)

小学校で副校長をしていた頃に読んだ本ですが、いつか中学校で勤務したときに紹介できればと思っていました。私は昔から数学が苦手で、中学の頃は数学の授業中に難解な内容についていけず窓の外ばかりを眺めていました。そうして人生の中で数字に関わることをできるだけ避けて通ってきた気がします。

「**数学が子どもの頃から好きだった。**」で始まるこの本は数学という手段を通して世界をわかっていくという内容です。数とは冷たく、無機質なイメージがあるかもしれませんが、実はとても人間的で温かい。例えば数字はなぜ10で一区切りにされているのでしょうか？答えは「人はものを数えるときに指を使うから」です。タコが数を数えると8で一区切りになるかもしれません。次に右の図を見てください。ぱっと見ただけで数がすぐにわかるものはいくつまででしょうか。人が瞬時に数を把握できるのは3個までだそうです。4個以上になると脳の別の部分で数字に置き換えてカウントしているのだとか。諸文明の数字を見てみると、3以上が記号化されているのも興味深い。

数字というものが学習によって身につけている我々は2個のまんじゅうを見て「2」とイメージできるが、そもそも数字の「2」を見てイメージするものは何なのか？など数字の原点から考えを広げて、数学を通して世界を知ろうとする真摯な姿勢と美しく無駄の無い文体に魅了されました。

数学を意味する「mathematics」はギリシャ語の「マテーマタ（学ばれるべきもの）」に由来するそうです。このことについて作者はこう述べています。

「**学びとは、はじめから自分の手元にあるものをつかみ取ることであり、とハイデッガーは言う。同様に、教えることは相手ははじめから持っているものを、自分自身でつかみ取るように導くことだ。そう彼は論じるのである。**」

よい本からは新しい視点をいただけるものです。皆さんもさっそく新しい視点を開いてくれる本を探しに行きましょう。世界が広がりますよ。



人が瞬時に数を認識できるのはいくつまででしょうか

ローマ数字	I	II	III	IV	V
マヤ文字	.	..	...		—
漢数字	一	二	三	四	五
古代インド文字	—	二	三	+	Y
手書きアラビア文字	1	2	3	4	5
現代のアラビア数字	1	2	3	4	5

諸文明の数字にヒントが...



まんじゅうは2つだが？

西台中生のおすすめ本を紹介します

本に興味を持ち、読んでみたい、または読む量を増やそうと思ったという感想が多く寄せられました。また、もともと読書が好きで小説やラノベなどを楽しんでいるという声や、読書の時間や時間が取れないという悩みも挙げられました。すべてを紹介したいところですが、今回は**今年度七冊以上本を読んだと答えた人からの紹介本**です！

「**西の魔女が死んだ**」実写映画化されるほど有名であり、梨木香歩様の中で特に好きな本を選んだ結果この本なのですが 世界観は完全に現代であり、主人公とハーフのおばあちゃんとの思い出話が大半なのですがとても感動でき、最後の一言で私はボロ泣きしました。梨木香歩様の作品はどれも面白く非常に読みやすい文章故おすすめです。ちなみに「裏庭」という本もおすすめです。(7年生)

「**博士の愛した数式**」博士とのストーリーを追いながら、数学の美しさや数学を探究することの素晴らしさを体感させてくれたところ。数学がもともと好きな人も、物語が好きな人も深く味わえる一冊。(9年生)

「**聖書(新改訳2017)**」聖書の人物は「偉大」と言われているけれど、そうじゃないことが分かる。結構ストーリー性があるエピソードがたくさんあるから面白い。おすすめは、「エステル記」と「ヨハネの黙示録」。ヨハネの黙示録は、この世界ではない情景が広がっていて、ファンタジーみたいな感じ。(8年生)

「**人間失格**」『恥の多い生涯を送ってきました』この一文から始まる太宰治の代表作で、人間の苦悩をそのまま言葉として書きあらわしているところです。無駄な言葉が無く、精練されている文章であるところも好きです。(7年生)

「**ラブカは静かに弓を持つ**」(図書室にあるのでぜひ) 自分で勝手にキャッチコピーを作った事があるのですが、『チェロの旋律が結ぶのは、絆か罪か』という結果となりました。私は所見ではバトル小説だと思っていたのですが、表紙からもわかるゴリゴリの音楽系ジャンルでした。ヒューマン・ドラマ要素が濃く、でも泣かせにくるようなものではなくて、ともかく人間の心理描写がうまいです。文章の反復や倒置法の使い方もとても素晴らしくて、久しぶりの読書だったのですが思わず震えました。音楽(チェロ)の知識が一切ない私でも楽しんで読むことができたので、とてもおすすめです。(7年生)



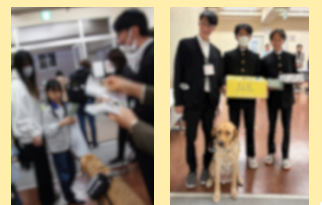
西台中学校図書館について

西台中学校図書館は平日お昼休みに開館しています。図書委員が当番をして貸し出し手続きをします。担当の先生は長嶺先生と鈴木廉先生です。火曜日は図書館指導員の荒井さんが来ているので、探している本、貸出予約や購入してほしい本の希望など、本のことなら何でも相談してください。 **一人5冊まで貸出可能 貸出期間3週間 延長可能**

10月24日(土)文化発表会において生徒会本部の企画により盲導犬募金活動を実施しました。募金総額は**17,269円でした。**

目の見えない、見えにくい方々の積極的な社会参加の一助となる盲導犬の育成を支えるこの募金について多くの皆様からご協力をいただけたことに感謝申し上げます。これからも共生社会の実現に向けて西台中学校は活動を続けていきます。引き続き応援をよろしくお願いいたします。

文化発表会における盲導犬募金活動の様子。盲導犬のシャルルも嬉しそうです。→



生徒の活躍

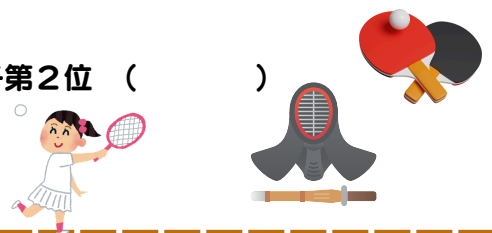
第79回板橋区民スポーツ大会 卓球

女子団体1部 第1位 男子団体1部 第2位 ヤング女子第2位 ()

新人卓球大会 個人の部 第5位 ()

第4ブロック秋季剣道大会 女子団体第3位 男子団体第3位

第4ブロックソフトテニス秋期研修大会 女子団体戦 優勝



11月の行事予定

10/28~11/6 進路面談(9年)

3日(火) 文化の日

4日(水) ⑤カット 給食後下校

5日(木) 定期考査一週間前

7日(土) 板橋区音楽祭・演劇発表会

9日(月)

12~13日

16日(月)

17~19日

22日(日)

23日(月)

24日(火)

全校朝礼 板橋区平和のつどい

二学期期末考査

専門委員会

職場体験(8年)

ESAT-J(9年)

勤労感謝の日

生徒会朝礼

「部活のときにたまにある再登校で家が遠い人は待てる教室が欲しいです。」という意見をいただきました。そんなときは、ぜひ寺子屋NDを利用してください！
月・火・木曜日 16:00~16:50
※5時間授業の時は15:00~15:50
場 所: 3階 進路指導室(はあとルーム)
個別ブースで自習や読書ができるよ。